

製品名: サイクリンHウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83840**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | 38 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CyclinH |
| 別名 | CAK; CCNH; CDK-activating kinase; cyclin H; cyclin-dependent kinase-activating kinase; Cyclin-H; MO15-associated protein; p34; p37;;Cyclin H |
| 遺伝子 ID | |
| SwissProt ID | P51946 |
| 免疫原 | ヒトサイクリンH由来の合成ペプチド |

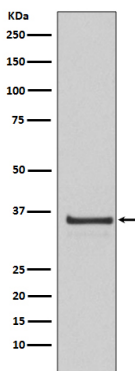
背景

CDK 活性化キナーゼ (CAK) 酵素複合体の触媒サブユニットである CDK7 を制御します。CAK は、スレオニンリン酸化によってサイクリン関連キナーゼ CDK1、CDK2、CDK4、および CDK6 を活性化します。コア TFIIF 基底転写因子と複合体を形成した CAK は、その大サブユニット (POLR2A) の反復 C 末端ドメイン (CTD) のセリンリン酸化によって RNA ポリメラーゼ II を活性化し、プロモーターからの離脱と転写産物の伸長を可能にします。細胞周期制御および RNA ポリメラーゼ II による RNA 転写に関与しています。その発現と活性は細胞周期を通じて一定です。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中のサイクリン H 発現のウェスタン ブロット分析。